



グローバル時代のキャリア形成を考える

国際キャリア教育プログラム

参加者募集

2022 国際キャリア教育セミナー開講!!

国際キャリア教育

セミナー:

2022年

9月23日(金祝)～25日(日)

事前指導(オンライン):

2022年

7月19日(火) 18:00～19:30

定員: 50名(先着順)

International Career Seminar

セミナー:

2022年

10月1日(土)・8日(土)・9日(日)

事前指導(オンライン):

2022年

7月20日(水) 18:00～19:30

定員: 50名(先着順)

共通事項

参加費: **無料** ※ネットワーク通信料は自己負担となります。

会場: 全日程、Zoom等によるメディア授業で実施。
ご自宅からご参加いただけます。

備考: 各自、メディア媒体の準備(PCからの参加を推奨します)、
および、安定したインターネット環境の確保をお願いします。
7月中旬に、事前指導(オンライン)を行います。

詳細はホームページでご確認ください!!



国際キャリア教育プログラム

検索

<https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/>



*「国際キャリア教育」及び「International Career Seminar」は、栃木県からの支援を受けて大学コンソーシアムとちぎが開講する「とちぎグローバル人材育成プログラム」の必修(選択必修)科目として、大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学が実施するものです。

主催: 大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学
後援: (公社) 栃木県経済同友会、
(公財) 栃木県国際交流協会、
NPO法人宇都宮市国際交流協会、
いっくら国際文化交流会、JICA筑波センター
協賛: (公財) あしぎん国際交流財団
特別協力: 宇都宮市創造都市研究センター



キャリアセミナー2022日程案

豊富な経験を有する講師とともに、働くとは何か、そして仕事と地域や世界とのつながりについて考えます。テーマ別の分科会ごとに、ワークショップやディスカッションを取り入れた、メディア講義形式の集中授業です。

<国際キャリア教育、International Career Seminar共通>

■事前指導（オンライン）

国際キャリア教育：2022年7月19日（火）18:00～19:30

International Career Seminar：2022年7月20日（水）18:00～19:30

1日目

9:30～17:50

午前
開講式／オリエンテーション
全体講義／グループディスカッション
--- 昼食休憩 ---
午後
パネルトーク
趣旨説明／発表プレゼン方法説明
分科会Ⅰ（分科会講師による講義等）

2日目

8:30～18:30

午前
分科会Ⅱ （グループディスカッション、発表準備等）
--- 昼食休憩 ---
午後
分科会Ⅲ
中間発表
発表準備

3日目

8:30～15:00

午前
発表準備
全体発表
--- 昼食休憩 ---
午後
ふりかえり／意見交換／全体総括等
閉講式



日程は変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

申し込み方法

申込方法：1. 申込フォームから (<https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/registration/>)

2. 申込用紙の送付（申込用紙請求先メールアドレス：kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp）

申込開始：2022年6月1日（水）申込締切：2022年6月30日（木）（定員になり次第締め切ります。）

分科会：原則先着順としますが、人数に偏りがある場合は調整させていただきます。

問い合わせ先

宇都宮大学 国際学部 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 TEL.028 (649) 5172/FAX.028 (649) 5171
E-mail kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

国際キャリア教育 グローバル時代のキャリア形成を考える

全体講義

混迷の時代の国際キャリアを考える — 真のグローバル人材に必要な条件 —

講師：重田 康博（しげた やすひろ）

宇都宮大学 国際学部 客員教授、前国際キャリア教育運営委員会委員長



全体講義内容：

今世界は混迷の時代と言われています。その混迷の時代を生きるための真のグローバル人材とは何か、その必要な条件を具体的な事例を示しながら紹介し、国際キャリア形成について考えます。

プロフィール：

北九州市立大学大学院社会システム研究科博士後期課程修了（博士・学術）。国際協力推進協会（APIC）主任研究員、クリスチャン・エイド客員研究員（イギリス・ロンドン）、NGO活動推進センター（現、国際協力NGOセンター、JANIC）主幹等を経て元宇都宮大学国際学部教授（2007-2022）、専門は国際開発研究、国際NGO研究。JANIC政策アドバイザー、アジア・アフリカ研究所理事、JVCとちぎネットワーク代表。福島原発震災に関する研究フォーラム・アドバイザー。著書に『NGOの発展の軌跡』（明石書店 2005）、『国際NGOが世界を変える』（共著、東信堂 2006）、『開発教育—持続可能な世界のために』（共著、学文社 2008）、『激動するグローバル市民社会—慈善から公正への発展と展開』（明石書店2017）、『グローバル時代の「開発」を考える—世界と関わり、共に生きるための7つのヒント』（共著、2017明石書店）、『SDGs時代のグローバル開発協力論』（編著、明石書店 2019）、『日本の国際協力 アジア編—経済成長から「持続可能な社会」の実現へ』（編著、ミネルヴァ書房 2021）、他。

分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

国際ビジネス

A. 自分に何が出来るか、 改めて考えてみよう！

講師：黒崎 めぐみ（くろさき めぐみ）

NHK宇都宮放送局 局長

分科会内容：

今、世界で起きている様々な事象の中で、一番気になることは何か。自分に出来ることは何か。どのように情報を集めてキャリア形成につなげていくか。参加者同士で議論をしながら自分が求める職業について考えます。

プロフィール：

平成3年、東京大学文学部英語英米文学科卒業後アナウンサーとしてNHKに入局。名古屋局、大阪局、東京アナウンス室、編成局等を経て令和2年8月より現職。キャリア形成の中で一番影響を受けたのは1989年に報じられた世界の様々な出来事です。特にルーマニア革命はかつて住んでいた国だったこともあり大きな衝撃を受けました。



国際協力・国際貢献

D. 「自分らしい」キャリアを作っていく

講師：菊池 礼乃（きくち あやの）

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 事業サポート課 課長

分科会内容：

国際協力への多様な関わり方がある今、キャリアづくりの第一歩として、何を実現したいか、どの立場で関わりたいか、自分と向き合うことが大切。私の経験を紹介しながら、自分らしいキャリアづくりを考えていきます。

プロフィール：

大学卒業後、一般企業、イギリス留学（修士号取得）、NGOや国際機関でのインターンを経て、2011年にシャンティに入職。ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所のプロジェクトマネージャーとして7年間難民支援に携わる。帰国後、2018年10月より事業サポート課に配属、2019年7月より現職。



国際ビジネス

B. 教育×ビジネスの可能性を探る

講師：粕谷 直洋（かすや なおひろ）

株式会社SKT 教育事業部 部長
CAN!P 代表

分科会内容：

「世界で活躍する人材の育成」において、昨今、学校だけでなく、放課後やオンラインなど様々な教育のカタチが存在します。民間でできること、また持続可能なビジネスとして成立させる方法を一緒に考えてみましょう。

プロフィール：

2009年に宇都宮大学を卒業後、公文教育研究会に7年間勤め、国内、海外で経験を積む。2016年に福岡へ移住し現職へ。「自ら考え、選択・決定できる子」を育てるべく、民間学童事業を中心に、幼児、小学生向けに様々な教育サービスを手がけている。2021年度にグロービス経営大学院でMBAを取得。2児の父で昨年5ヶ月間の育休取得。



ジェンダー

E. 気づこう！無意識の思い込みが 生活や職場に与える影響

講師：川面 充子（かわづら みつこ）

宇都宮大学 ダイバーシティ研究環境推進本部 特任助教

分科会内容：

日本は男女格差を測るジェンダーギャップ指数（GGI）が、順位は156か国中120位と先進国の中で最低レベルとなっています。なぜ日本は男女格差を縮められないの？その原因の一つと言われている誰にでもある無意識の思い込みについて、みなさんと一緒に考えます。

プロフィール：

三重県出身、法政大学院政策創造研究科で女性管理職登用について研究。栃木県男女共同参画センターで広報・調査研究事業に携わり、その後地方議員2期務め、2013年より宇都宮大学男女共同参画推進室に勤務。yogaでワーク・ライフ・インテグレーションを実現しています。



異文化理解コミュニケーション

C. 違いを強みに変えるコミュニケーション

講師：岩井 俊宗（いわい としむね）

特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事

分科会内容：

人間関係構築また違いを強みにしていくうえで、相手の心を開かせ、真の情報を引き出していく質問力や関わり方のコミュニケーション、人との関わり力の求心力となる提案力を議論と演習を行い実践的に身につけていく。

プロフィール：

1982年宇都宮生まれ。宇都宮大学国際学部卒。大学では国際協力における住民主導の開発と市民組織を専攻。NPO・ボランティア支援の仕事の後、2010年若者の力を活かして地域の課題解決・活性化の加速するNPO法人創設し、現在まで代表を務める。現在も多くの若者、多様な組織と連携し、地域づくりに取り組む。



多文化共生と日本

F. 「多文化」が「共生」する社会とは？

講師：申 惠媛（しん ひえうおん/SHIN Hyewon）

宇都宮大学 国際学部 助教

分科会内容：

「多文化共生」と聞いたとき、あなたはどんな印象を持ちますか？あなた自身が「外国につながるりをもつ」場合はどうでしょうか。「多文化共生」という言葉の幅広さ・曖昧さ・多彩さに触れながら、多様性がキーワードとなる社会を生きるための方法を一緒に探ります。

プロフィール：

韓国ソウル市生まれ、2001年来日。熊本や東京で学生時代を過ごす。東京大学大学院総合文化研究科にて博士（学術）を取得。東京大学教養学部附属教養教育高度化機構・特任助教を経て、2022年より現職。専門は社会学、特に観光地化など新しい局面を迎える地域社会における「多文化共生」の研究に取り組んでいる。



全体講義

Time for us to Move On!?

— Hints to Take International Action

講師：Kazuhiko YOSHIDA, Ph.D. 吉田 一彦

宇都宮大学 国際学部 教授、国際キャリア教育運営委員会委員長



全体講義内容：

The lecture discusses cases of multilingual communication and multicultural collaborative activities in international communities, based on the lecturer's own experience. Through the discussions, students will notice themselves tips to be applied in their work-group sessions and in their real lives.

プロフィール：

Kazuhiko YOSHIDA, descendant of Emishi and Yamato from Northern Honshu, Japan, is the chairperson of the International Career Education Committee and a professor teaching linguistics and multilingual communication at the School of International Studies, Utsunomiya University, as well as a non-professional bass player. Although he has lived in France, Pakistan and Thailand besides Japan, he has visited over 30 countries and worked with people of a hundred different nationalities. He is consistently amazed and inspired by the diversity of the world.

分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

入門 Introductory Work Sessions (分科会Cは峰キャンパス内の教室での対面実施。オンラインでの参加も可能です。)

異文化理解コミュニケーション

A. Make It Up / Make It Happen : Collaboratively Creating an Original Future

講師：Gregory WOLF グレゴリー ウルフ

Youth Theatre Japan

分科会内容：

How do we, from zero, imagine and launch bridge-building, barrier-smashing, people-empowering new projects? In this course we take a global-minded approach to creativity (art, design, entrepreneurship, activism, etc.), explore useful concepts, and brainstorm your ideas.

プロフィール：

Gregory Wolf is a teaching artist, songwriter, and project manager at Youth Theatre Japan, an 18-year old startup that creates new value in the areas of education and entertainment. Gregory holds a BA in theatre and has studied, written, directed, and appeared onstage throughout Japan and the United States. His work focuses on engaging children and adults in questions of identity, diversity, and the personal, social, and political change necessary to overcome conceptions of "otherness."



多文化共生と日本

D. Maximizing Individual Choice and Capabilities by Building Transnational Careers

講師：Ana SUEYOSHI, M. Phil. スエヨシ アナ

宇都宮大学 国際学部 准教授

分科会内容：

The mobility of Japan born/raised Peruvians between Japan and Peru expands their range of choices as it allows them to take advantage of employment, education and investment opportunities in both countries. The discussion will be focused on capability building and how it leads to the creation of authentic freedom to choose meaningful careers and lives that the Japan born/raised Peruvians value.

プロフィール：

Prior to taking my current position, I worked as researcher, economic consultant and economic advisor in Peru. After my studies at the Graduate School of International Political Economy (GSIPE), Tsukuba University, Japan, I joined the School of International Studies, Utsunomiya University, where I am in charge of Latin American Studies. My research interests include Latin American economy, the link between higher education and employability in the APEC region, and Nikkei workers in Japan and Nikkei returnee children in their homeland.



国際協力・国際貢献

B. Learning from Yesterday, For Safer Tomorrow ; Skills Required in the Age of New Normal

講師：Takeshi KOMINO 小美野 剛

CWS Japan 事務局長

分科会内容：

This course explores the evolution of the disaster risk reduction field, as well as the critical skills required in this ever prone disaster time of our lives; the New Normal. We will explore learning from experience and discover strengths to be derived from each student's participation in the dynamics of their hometown.

プロフィール：

General Secretary of CWS Japan, and Co-chairperson of Japan Platform. Also serves as deputy chairperson and a member of Executive Committee for Asian Disaster Reduction and Response Network (ADRRN) and joint secretariat of Japan CSO Coalition for DRR (JCC-DRR). He graduated from Doshisha University, and holds Development Studies M.A. from Brandeis University.



中級以上 Intermediate Work Sessions (TOEIC550点程度以上から)

環境ガバナンスと多文化共生

E. Dreams, Skills, Jobs & Well-being

講師：Bernadett KISS, Ph.D. バーナデット キッシュ

宇都宮大学 国際学部 外国人研究員

分科会内容：

Finding your 'life call' is not always straightforward, you might require support along the way. In this session, we explore personal strengths, reflect on individual preferences and see how these can contribute to career dreams, well-being and the planet's sustainability.

プロフィール：

My career has followed a winding trail across a variety of landscapes, countries, disciplines and professions. While the destination has not always been clear, certain interests and values have carved my path and given me plenty of life experience. In the past 20 years, I have worked in different multicultural environments with a variety of actors in the field of communication, human resources and environmental project management. Today I am an environmental researcher, and, who knows what tomorrow brings.



国際協力・国際貢献

C. Multidisciplinary Approach in Field-based Studies

講師：Tatsuhiko OHKUBO, Dr.Agric. 大久保 達弘

宇都宮大学 農学部 森林科学科 教授

分科会内容：

The aim of this session is to discuss about the concept of research building, the necessary skills and its application in field-based studies, especially those based on a multidisciplinary approach to solve complex issues on sustainable land use and natural resource management that are of common interest for the participants from various backgrounds and disciplines.

プロフィール：

His current research interest is on the "Effects of natural and anthropogenic disturbance on pattern and process of regeneration resilience in Tropical Forests of South East Asia (Sarawak/Malaysia, Northern Thailand, South China) and Temperate Deciduous Forests in East Asia (Japan and Korea)". He was a former director of Satoyama Science Center of the School of Agriculture, UJ. The discussion with the participants will focus on mutual interests in field studies, especially in rural and mountainous regions in Southeast and East Asia.



国際協力・国際貢献

F. Human Security Paradigm : Partnership in Non-traditional Security Issues

講師：Sugit ARJON, Ph.D. スギット アルジョン

宇都宮大学国際学部 助教
元立命館大学国際地域研究所 客員研究員

分科会内容：

This course aims to advance students' knowledge about collaborations and partnerships in non-traditional security issues. Students are expected to be familiar with the concept of non-traditional security, key actors, and current practice. In the process, students will understand career development in non-traditional security career paths.

プロフィール：

Sugit Arjon is an Assistant Professor in Global Governance, the School of International Studies, Utsunomiya University. He specialises in the political dynamics in the post-conflict region. His research focuses on democratisation, state violence, security, political dynasty, and civil-military relations in the Southeast Asia region and specifically in Indonesia. Before working in academia, he has professional experience in high-level policymaking with the Minister of Education and Culture of Indonesia and the Executive Office of the President of the Republic of Indonesia.

